

**「(仮称)白岡町自治基本条例(白岡町まちづくり条例)をつくる会」  
第9回全体会議・ワークショップの議事録(H22.1.9)**

**【1 全体会議】**

**事務局** これから第9回白岡町自治基本条例をつくる会を始めます。開催にあたりまして内山会長から挨拶を頂きます。宜しくお願いします。

**内山会長** この会は本年が勝負になります。心構えは出来ていると思われそうですが、改めてもう一度気を引き締めて取り組みましょう。皆さんのご協力を得ながら目的を達成出来る様に頑張りたいと思います。宜しくお願いします。

**事務局** 有難うございました。続きまして折原町民活動推進課長より挨拶を申し上げます。

**折原課長** 先程会長からお話がありましたが、条例づくりは今年が勝負になります。7月頃に中間発表フォーラムがあります。その頃までには皆さんの議論が進んで、大項目の理論構成が出来ていると思います。前半が非常に重要になるので、改めて皆さんのご協力をお願いします。議会でも各会派の代表で構成される条例の検討委員会が今月末に設置されるという話も聞いております。議会の方でも条例に対して動き始めます。これから中間発表等でも対議会、対住民、対行政区等に説明する機会が生じてくると考えています。事務局も皆さんの議論が進むようにフォローアップしていくので宜しくお願いします。合わせて条例をなぜ作るのか、なぜ必要なのかを改めて委員一人一人が考えて下さい。なぜなら、白岡町は単独で行政運営をしていく中で住民が5万人を超えました。市になることもらんで、新しいまちづくりをしていくためのシステムづくりを皆さんが担うわけです。繰り返しになりますが、宜しくお願いを致しましてご挨拶にさせていただきます。

**事務局** 有難うございました。それでは議事に入ります。内山会長、進行をお願いします。

**内山会長** 暫時、議長職を務めさせていただきます。宜しくお願いします。まずはワークショップの進め方について事務局から説明があります。

**事務局** 資料確認をします。本日の全体会議では、作業部会のメンバーを選出して頂きます。前回説明したシートを提出し、それを文章化する作業をして頂くメンバーを決めます。その後、決まった大項目・中項目の総論の部分について、ワークショップでシートを埋めて頂きます。ワークショップの進め方については、牛山教授からアドバイスを頂いてから作業に入ります。今回の総論を議論することは、自治基本条例の理念を考えることです。さらに、理念を実現するために条例で目指すことは何かを考えることです。これから議会や住民に説明する機会があります。納得してもらえるような議論をワークショップでして頂きたいです。理念、目的を挙げた理由を考えて頂くのが前半の大きな作業になります。最後発表して頂きます。宜しくお願いします。

**内山会長** 有り難うございます。ここまでの内容についてご意見、ご質問はありますか。無い様なので次に進みます。前回取り急ぎ作業部会について提案し、ご理解を頂きました。今回は作業部会の6人のメンバーを決めます。会長、副会長は決まりなので、残りの4名を決めます。各グループから均等にメンバーを出すとなると、A、Cグループからは1名ずつ、Bグループからは2名出してもらいます。是非メンバーをやりたいという方は挙手して下さい。作業部会のメンバーには大きな負担がかかりますが、ご理解して頂いた上でやりたい人はいますか。

**櫻井委員** Bグループは遠藤委員が決まりました。

**内山会長** 作業部会の日程については前回少し話が出ましたが、全体会議が午前の時は午後、全体

会議が午後の時は次の全体会議の午前と話が出ましたが、それについては議論されていません。平日になる可能性もあります。町の職員の方は途中で抜けて入ってもらうのは大変なので、町の職員以外で決めて下さい。

**日下委員** 前回も申し上げましたが、複数名を選び、都合がつく人が出るというように、メンバーを固定しないという考え方はいかがでしょうか。

**内山会長** 前回、牛山教授、折原課長からアドバイスを頂きました。固定に近い形で行った方がやりやすいという事でした。それを踏まえて、極力固定の形を目指したいです。しかし、今、日下委員から意見があった様に、都合がつかない場合は、固定に固執しないで良いと思います。まず、固定の形で決めて頂いて、それが出来ないときはどうするかを議論するという進め方でいかがでしょうか。

**日下委員** 分かりました。

**内山会長** Aグループはいかがですか。

**折原課長** 町の職員は平日の会議に参加するとなると、所属長の承認を頂かなくてはなりません。仮に職員が委員になれば、夜間、休日の開催になると思います。職員は公募として入って頂きましたが、通常勤務の中で時間を割いて頂くことになるので、所属長の承認を得るのが難しいです。ご了解を頂ければと思います。

**櫻井委員** 住民協働の時も同じ様な会があったのですが、仕事があったので土日が7時以降にして職員も平等に入れる方が良いと思います。

**内山会長** 分かりました。今のご意見に対してはいかがですか。

**折原課長** そういう事であれば、所属長から許可をもらえるよう対応します。作業部会の作業は非常に負担が多くなります。文章化して、皆さんに提出し、また修正するという事を繰り返します。少なくとも全体会の倍の開催も予想され、これからの8、9ヶ月間は作業部会のピークになります。その点を踏まえ、積極的に部会のメンバーになって頂きたいです。

**内山会長** 有難うございました。Bグループはどうですか。

**櫻井委員** 広辺委員に打診してみます。

**内山会長** Cグループはいかがですか。

**日下委員** 決めかねています。

**内山会長** Aグループはいかがですか。金子委員ですね。分かりました。では5分間、休憩を含めて話し合ってください。

**内山会長** 5分経ちました。作業部会のメンバーについて決まったので公表します。Aグループは金子委員です。Bグループは遠藤委員、広辺委員です。Cグループは日下委員です。日下委員が不都合な場合は古嶋委員、更に古嶋委員が不都合な場合は吉野委員が代わりに出ます。以上の様に作業部会のメンバーを決めます。また、今日のつくる会が終わった後、どのように進めるかを話し合います。では、ワークショップに入ります。ワークショップの進め方について事務局から説明をお願いします。

**事務局** ワークショップに入りますが、本日非常に重要な作業になります。今後、各項目を決めていくに当たっても、総論で決められたことが大きなイメージになります。それを持って議会、住民などに説明していきます。全体の条例のイメージをつかむ意味でも今日の作業を進めて頂きます。作業に当たって、牛山教授からアドバイスを頂きます。お願いします。

**牛山教授** 今日は大項目では総論、中項目で言うと理念、目的、用語の定義について議論して頂く事

になります。条例となると法制上の整理ということがあります。目的、理念、定義についてどの様に書いていくのか。理念については法制的に考える必要は無く、この条例で掲げる理念について書きます。例えば、自治というのは何か。この条例で目指すべき姿やあり方、町民の個人の尊厳の尊重、昨今の地方分権の状況などについて書きます。様々なことを考えて頂きまして、この条例の考え方に盛り込んでいきます。

一方で、目的というのがあります。この目的と理念を混同してしまう可能性もあります。ここで言う目的というのは、この条例の目的です。言葉が共通なので分かりにくいとは思いますが、理念で掲げた中身を実現するのが目的です。前文や理念で書かれたことを要約して実現するのが目的です。前文について議論していないので要約できないという意見があると思います。そこは抽象的に書きます。例えば、この条例に掲げられた理念を実現することが目的である、自治の考え方を実現するのが目的である等の様に書かれます。理念を実現することが目的として規定されます。話が抽象的ですが、同じ内容にならない様に書いて下さい。

もう一つ大きな問題として定義があります。定義は条例の法制上の問題で、この条例の中で使う用語が特別な意味合いを持っている場合、その用語を定義しておかなければいけません。例えば、この条例の対象にする人を定める場合、住民、町民、市の場合は市民、普通の市民とは違う意味でも市民などのような用語があります。町民というのは一般的な理解では町に住んでいる人ですが、町に通っている人などをどうするのか等の様に、様々な定義の仕方があります。住民協働であれば、協働は何か。コミュニティは何か。人によって理解が違言葉が在ると思います。その様な言葉について、総論で定義していく必要があります。しかし、全体が出てこない、この段階で定義するのは難しいと思います。皆さんが議論していく中で出てくるものです。なので、最後に用語の定義をすることになります。しかし、議論の過程で、ある程度見極めておかなければいけない用語もあります。例えば、町民や住民などのような言葉は、厳密に定義しないまでも、ある程度概念規定をしなければいけないかもしれません。ですが、定義については最後に出揃ったときに確定すれば良いです。

ここでは、目的、理念を議論して下さい。順番としては、最初に理念を議論して頂くと、目的が書きやすい様に思います。時間が余ったら、定義について最初に決めておかなければいけないことを挙げていただくのも良いかもしれません。あくまで時間が余ったらの話です。以上です。

**事務局** 有難うございました。では作業に入して下さい。作業については「議論するポイント」を見ながら、町民の皆さんに理解してもらえる様な内容を踏まえて考えて頂きたいと思います。宜しくお願いします。

## 【2 ワークショップ】

A～Cグループの3グループに分かれてワークショップを行いました。

中間発表として、途中経過をグループごとに発表しました。

\* \* \* \* \*

**内山会長** 時間になりました。Aグループから発表をお願いします。

**神田副会長** 私達のグループは事前に文章化してくるという宿題を出していました。それを用いて、自分たちが主体的に物事をやるために自治基本条例が大事であると考え、議論しました。理念で何を

書くかについては、「住民に開かれた行政運営を行い、住民は、行政に参画、協働して新しい公共の原則に基づき、共に公共の領域を担い、地域社会を築いていく」という文章と、「出会い・ふれあい・助け合いの住民協働による真に開かれたまちづくりを目指す」、「持続可能な地域社会の維持および形成、住民自らの意思と責任に基づき参画し、住民一人ひとりが尊重される民主的で自立した社会の実現を目指す」という3つの文章を書きました。目的は「この条例は白岡町の自治の基本理念と町政運営及びまちづくりの基本原則を定め、あわせて住民の権利義務、行政・議会などの責務を明らかにし、協働によるまちづくりの方向を地方自治の本旨にのっとった自治を確立することを目的とする。この条例は白岡町の最高規範であるため、白岡町の条例は全てこの条例に適合しなければならない。」ということを目적으로して書きました。そして、日常的なことですが、「子供がイキイキニコニコ社会」などをイメージして議論しました。以上です。

**内山会長** 有難うございました。続きましてBグループお願いします。

**遠藤委員** 理念の軸は協働と情報の共有を表題に書くという意見が出ました。協働という言葉については、あまり馴染みがないので、参画という言葉にしても良いという意見もありました。まとめたものを読み上げます。「人は公的な存在であり、公共について考え、他者と関わり、地域と関わり、人に優しい町のことを気にする町民を実現する」ということを書きました。この中に「新しい価値観」や「白岡町にいる人として新しい『個人』をつくりたい」という考えもキーワードとして入れたいと考えました。理由は、住民が自分の役割を持っていないのが現状で、出来る範囲で役場の仕事を積極的にやっていく必要があるということです。それから、もう一つの情報の共有については、活字、電子媒体にしか目が向いていなく、広く届けられるような手法が必要であると考えました。フェイス to フェイス を意識的に考えていく必要があるという意見が出ました。それから、目的は「自治の基本理念」、「自立した地域社会」という言葉をキーワードとして入れて文章化したいです。しかし、つくる会全体で自治の基本理念や自立した地域社会についてあまり議論していないので、考え方の幅が広いと思います。私は、ここについて議論することでメンバーの考えのズレを調整したほうが良いと思いました。それから、「こころ豊かで、他人にやさしい誰でも住みたくなる、魅力あるより良いまちづくり」というのも入れたいです。私達のグループは文章化まで至りませんでしたが、考え方はこの様なことです。以上です。

**内山会長** 有難うございました。では、Cグループお願いします。

**古嶋委員** 理念について議論するにあたり、前文との関係でどのように書くかに暫く時間を掛けました。その理由として、理念を書くために「先人の努力に対する敬意」、「目指すまちづくりの方向性」、「人権の尊重」、「自主自立の地域自治」、「次世代への継承」などを踏まえながら考えました。1つ目は「先人の積み上げてきた自然、環境、文化、伝統を尊重しながらさらに進化する時代に対応した新しい文化を築き上げていく」という文章です。「さらに進化する時代」というのはキーワードです。もう一つは、「町民ひとりひとりの人権が尊重され自らの意思と責任において自己決定する」という文章です。この2つが入っていれば良いという話で理念は終わりました。目的は、まず理念を具現化することを書いておかなければいけないという事が1つです。もう1つは「自分たちの町は自分たちの手で築く」という自治の精神を町民・議会・行政で共有し、真に開かれたまちづくりを目指す」というのを目的で挙げたいです。その理由は、この様なことが大事であると考えたからです。以上です。

**内山会長** 有難うございました。それぞれが発表して頂きました。では次の作業について事務局から説明があります。

**事務局** 1つ提案なのですが、それぞれのグループがまとめたシートを事務局でコピーして他のグルー

ブのシートを参考にしながら作業していただくのが良いと思うのですがいかがですか。他のグループの良い所は取り入れ、共通事項を整理して下さい。

**神田副会長** 全然違う事なのですが、Aグループから問題提起があり、皆さんで話し合ってもらいたいのですが、それは名称についてです。自分たちのつくる会が「(仮称)白岡町自治基本条例(白岡町まちづくり条例)をつくる会」という様に仮称になっています。条例の名前が決まっていなくとも、この会の名称は仮称を取りたいとAグループは考えています。この会は自分たちの会なので、皆さんのご了解が頂ければ仮称をとって、「自治基本条例をつくる会」にしたいという提案です。もう一つ、自治基本条例が出来上がって、それを検討したり、フォローしたりする委員会が必要だと考えたので、それをどこかで検討したいです。

**内山会長** 有難うございました。最初のご意見に関して折原課長お願いします。

**折原課長** 仮称というのは「自治基本条例」にかかっているもので、つくる会が仮称なわけではありません。この議論をして、条例づくりに実益があるかどうかです。そこをご理解願います。

**内山会長** それともう1つ、検証するという意見ですね。

**松井委員** これは私が意見を出したのですが、改廃の時にフォローアップはどうするのかとお聞きしました。牛山教授からは委員会をつくって行っている自治体もあるとお答えして頂きました。しかし、そのことを中項目に書かれていなかったのも意見として出しました。

**牛山教授** 項目として出ていないのは必要でないと判断されたのではなく、忘れたのであればどこかのグループから提案されれば検討することで良いと思います。

**内山会長** では、今後検討することにします。宜しいでしょうか。次に、他のグループのシートを見ながら自分のグループのシートを肉付けして下さい。

**事務局** では15分間、空欄のところを中心に議論して下さい。そして終わったシートをまた事務局でコピーし、それをお配りして今日は終了とします。そのお配りしたものを作業部会で文章化して進めていきます。

本日のまとめを発表するかわりに、各グループの「理念」、「目的」に係る本日の最終シートを各委員に配付しました。

### 【3 全体会議】

**内山会長** 時間になりました。提出して頂いたので全体会議に入ります。

**事務局** 白紙のシート今から配付します。次に入る作業が住民・市民というところに入ります。Aグループはそれぞれが文章化して議論したということでした。その方が効率的かもしれませんが、それぞれのグループでやり方はあると思いますが、白紙のシートを配るので、事前に文章化する場合に活用して頂きたいです。日程と場所の変更をお知らせします。以上です。

**内山会長** お疲れ様でした。取り敢えず総論について議論して頂きました。おおよその手法は掴めたと思います。今後、この様に進みます。次回の会議までに自分のイメージを白紙のシートに記入し、持ち寄って議論して下さい。それではこれで本日の全体会議を終わります。

この後、作業部会のメンバーの方は、今後の進め方について打合せを行いますので、この場にお残り下さい。